

2DINメディアプレーヤー

2DIN006

取付説明書

このたびは、弊社2DINフルセグAndroidナビをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

この取付説明書はご使用前によくお読みいただき、大切に保管してください。

お客様へのお願い

取付けおよび接続を行う前に、必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しく作業を行ってください。
指定以外の取付方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。
本機の取付けには、専門技術と経験が必要です。取付協力業者等での取付けをお薦めします。
安全運転のため、ご使用前に「取扱説明書」、「取付説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
「取扱説明書」、「取付説明書」をお読みにになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

作業の前に

- 取付ける前に構成部品をご確認ください。
- 取付けには、一般工具のほか、はさみやカッターナイフ、布きれが必要です。
- ねじやボルト、ナットの取付けには、寸法の合う工具をお使いください。
- 別売の外部機器を接続する場合には、必ず指定品をお使いのうえ、各機器の取付説明書をよくお読みの上、正しく作業を行ってください。

作業の進め方

1. バッテリーの⊖端子を外す
2. 接続を確認する (☞ 接続のしかた)
3. 配線する (☞ 取付方法)
4. メインユニットを取り付ける (☞ 取付方法)
5. バッテリーの⊖端子を元に戻す
6. 作動確認をする (☞ 取付後の作動確認)

安全に正しくお使いいただくために

本機取り付けのために必ず守っていただきたいこと、知っておいていただきたい内容を記載しています。

警告

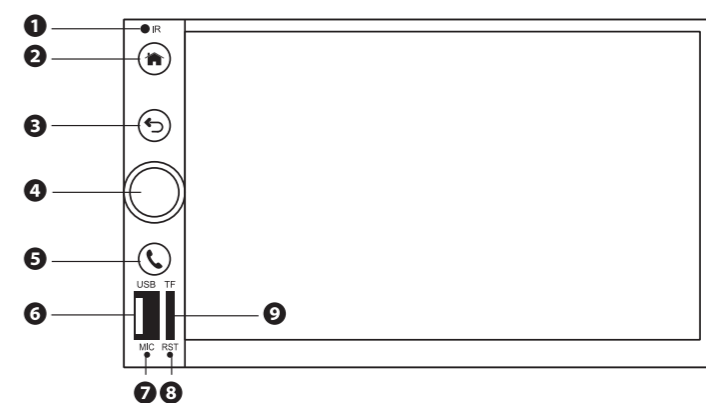
- **取り付け作業前には、必ずバッテリーのマイナス端子をはずす。**
プラスとマイナス経路のショートによる感電や怪我の原因となります。
- **本機を次のような場所には取り付けない。**
本機を、前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所などには絶対に取り付けしない。交通事故や怪我の原因となります。
- **車体に穴をあけて取り付ける場合は、注意して作業を行う。**
車体に穴をあけて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないように注意して行う。火災の原因となります。
- **ドリル等で穴あけ作業をする場合は、ゴーグル等の目を保護するものを使用する。**
破片などが目に入ったりして怪我や失明の原因となります。
- **車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しない。**
保安部品を使用しますと、制動不能や発火、事故の原因となります。
- **本機を分解したり、改造しない。**
事故、火災、感電の原因となります。
- **ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用する。**
規定容量を越えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。
- **画面が出ない、音が出ないなどの故障状態で使用しない。**
万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがあるなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談する。そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- **エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に本機の取り付けと配線をしない。**
車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行う。エアバッグ動作を妨げる場所に取付・配線すると誤作動を起こしたり、交通事故の際、エアバッグシステムが正常に動作しないため、怪我の原因となります。
- **電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止める。**
電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。
- **接続したコードや使用しないコードの先端など、被覆がない部分は絶縁性テープ等で絶縁する。**
ショートにより火災、感電の原因となります。
- **コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておく。**
ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくこと事故の原因となり危険です。
- **取付説明書で指定された通りに接続する。**
正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。

注意

- **本機の取付・配線には、専門技術と経験が必要です。**
安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。誤った配線をした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。
- **必ず付属の部品を指定通り使用する。**
指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れることがあり危険です。
- **雨が吹き込むところなどの水のかかるところや湿気、埃、油煙の多いところへの取り付けは避ける。**
本機に水や湿気、埃、油煙が混入しますと、発煙や発火、故障の原因となることがあります。
- **しっかりと固定できないところや振動の多いところへの取り付けは避ける。**
本機が外れて運転の妨げとなり交通事故や怪我の原因となることがあります。
- **直射日光やヒーターの熱風が直接当たるところなどへ取り付けない。**
金属部分が高温になり、火傷をする可能性があります。また、本機の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。
- **本機の通風孔や放熱板、ファンをふさがない。**
通風孔や放熱板、ファンをふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- **車体のねじ部分、シートレール等の可動部にコード類をはさみ込まないように配線する。**
断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。
- **コードが金属部に触れないように配線する。**
金属部に接触しコードが破損して火災、感電の原因となることがあります。
- **コードの配線は、高温部を避けて行う。**
コード類が車体の高温部に接触すると被覆が溶けてショートし、火災、感電の原因となることがあります。
- **コード類を決して切断しない。**
コード類には、ヒューズなどが付いている場合があるので、保護回路が働かなくなり、火災の原因となることがあります。
- **電源用リード線をバッテリーに直接接続しない。**
機器を動作させるための電流容量が不足して、バッテリーから直接、電源を取る必要がある場合はバッテリー専用の配線キットを使用してください。
- **コード等の車内への引き込みは、十分注意する。**
雨、水の車内への浸入を防ぐためコード等の車内への引き込みには十分気をつけて作業を行ってください。車内に浸水すると、火災や感電の原因となることがあります。
- **本機を車載用として以外には使用しない。**
感電や怪我の原因となることがあります。

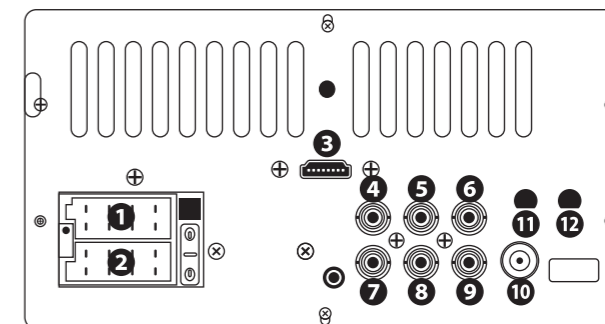
各部名称

■フロントパネル



- | | | |
|----------|------------|------------|
| ① 赤外線 | ④ 音量調節ダイヤル | ⑦ マイク |
| ② ホームボタン | ⑤ 通話ボタン | ⑧ リセット |
| ③ 戻るボタン | ⑥ USB挿入口 | ⑨ SDカード挿入口 |

■リアパネル

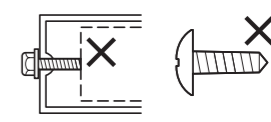
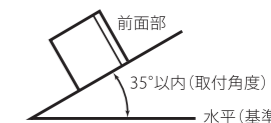


- | | | |
|------------|----------------|---------------|
| ① AVケーブル接続 | ⑤ バックカメラ入力 | ⑩ ラジオアンテナ接続 |
| ② 電源ケーブル接続 | ⑥ サブウーファー | ⑪ ⑫ テレビアンテナ接続 |
| ③ HDMI 1入力 | ⑦ 映像出力 | |
| ④ 映像入力 | ⑧ ⑨ LR オーディオ出力 | |

取付方法

お願い

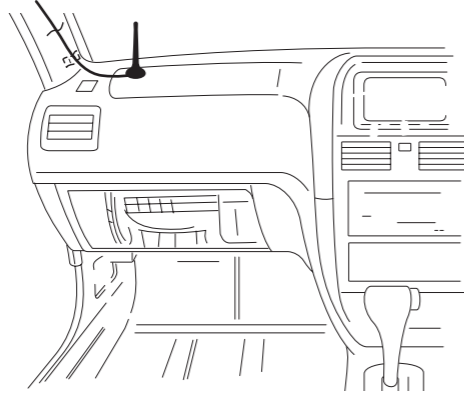
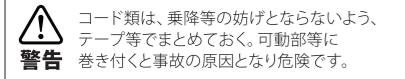
- センターコンソールの形状によっては、シフトレバーなどに接触する場合があります。詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 取付角度が大きな取付状態となる場合は、自社位置ズレやディスクの出し入れ等が正常にできない場合がありますので、できるだけ水平に対して35°以内の角度で取り付けてください。
- 必ず付属のねじを使用してください。取付ねじは、必ず付属のねじ(M5×8)を使用してください。指定以外のねじを使用すると機器の内部が損傷するおそれがあります。
- ディスプレイを手で押さえないでください。車両に取り付ける際、メインユニットのディスプレイ(表示部)やボタンを強く押さないでください。ディスプレイ(表示部)やボタンが破損する恐れがあります。



1. TVアンテナケーブルを配線する

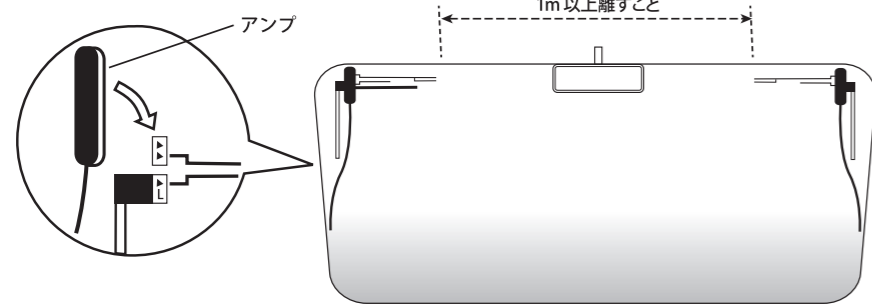
① TVアンテナケーブルをハーネス固定テープで固定しながら取付位置まで配線する。

- 車両エッジ部を避けて配線してください。干渉する場合は、エッジ部分にテープを貼り付けてください。
- 車両内装トリムを復元した際、コードのかみ込みが無い事を確認してください。



2. フィルムアンテナを取り付ける

- ①フィルムアンテナの粘着面の保護フィルムを剥がす。
- ②フロントガラスなどに貼付ける。
- ③手前側の面の保護フィルムを剥がす。
- ④アンプを給電端子とフィルムアンテナの接点(▲マーク)を合わせて貼り付ける。



3. メインユニットにブラケットを取り付け、車両に取り付ける

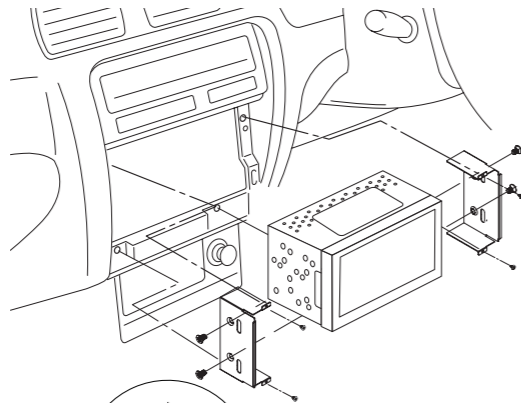
- ①車両のオーディオ、小物入れなどを取り外す。
- ②オーディオ、小物入れなどを取り付けているブラケットを取り外す。

- オーディオの取り外し方、取り外すねじの位置や数、使用する取付ブラケットは、車種により異なります。詳しくは、お買い上げの販売店や自動車ディーラーにお問い合わせください。

③メインユニットにブラケット・スペーサーを取り付ける。

④メインユニットに各コードを接続し、車両に取り付ける。

- 取付時、必要に応じて汎用ステーをご使用ください。



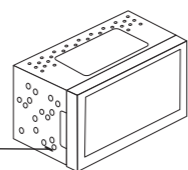
車両に取り付ける前に予め、mini B-CASカードを装着してください

■mini B-CASカードの装着方法

カードの向きに注意して、mini B-CASカードを突き当たるまで、奥までしっかりと差し込んでください。

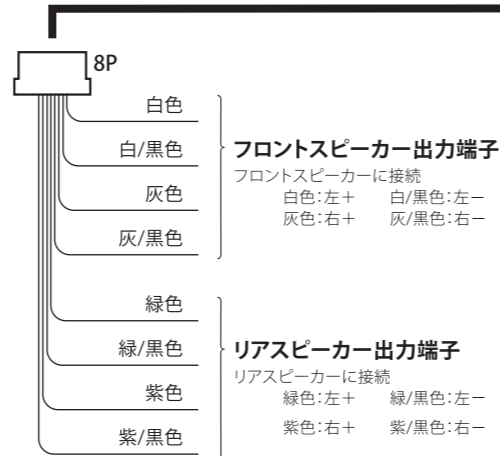


↑
mini B-CAS
カード挿入口



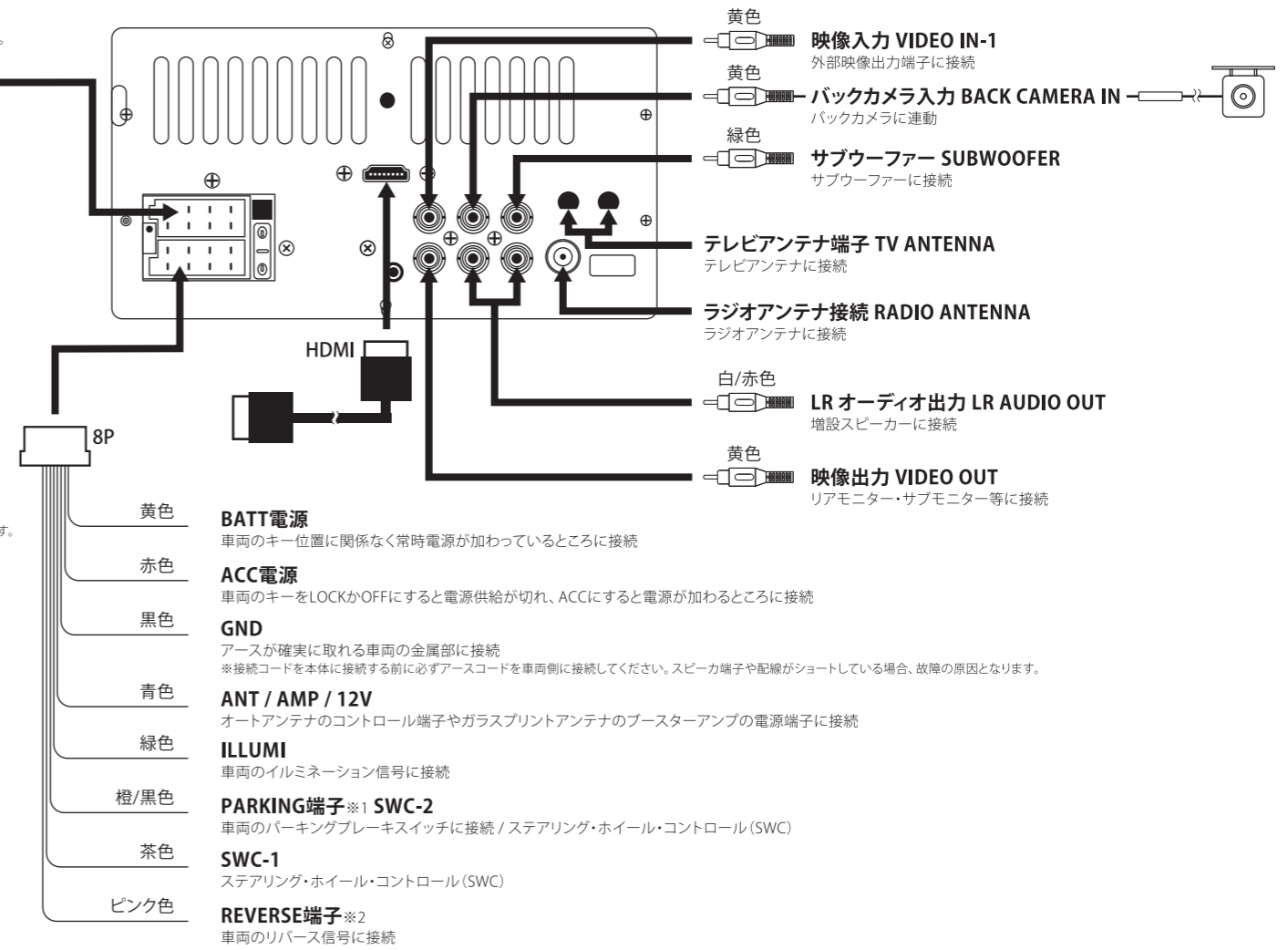
■接続の仕方

- 車両電源ハーネスとの接続には別売の車種別変換コードが必要です。詳しくは、お買い上げの販売店や自動車ディーラーにお問い合わせください。



※スピーカの+/-端子と電源/アース端子には、絶対に接続しないでください。故障の原因となります。

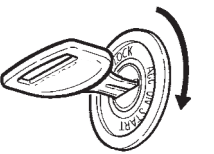
- 注意**
- 信号の取り出し位置は、車種やグレードにより異なります。詳しくは、お買い上げの販売店または自動車ディーラーにお問い合わせください。
 - 接続しない端子などは、ビニールテープ等で絶縁処理をしてください。絶縁処理をしないと誤作動の原因となります。



取付後の作動確認

■車のエンジンをかけディスプレイを表示させる

ディスプレイが表示するまで、ACC OFFやメインユニットの操作はしないでください。
シフトポジションや周囲の安全を確かめてから車のエンジンをかけてください。



■日付・時刻などの設定をする

設定方法については取扱説明書をご覧ください。

